

双葉の園 園だより

第368号 令和3年4月2日発行

木々の若葉が美しい、心うきうきする季節になりました。
ご進級、ご入園おめでとうございます。

今年度、はじめて保育園にお入りになる方は、保育園のことをどのようにお考えでしょうか？
保育園は0歳から6歳までの子どもたちが通うところであって、そこでは人生の基礎となる大変重要なことを学びます。

○ 私たちはどうして言葉と言葉の表す意味が分かったのでしょうか？

自分が小さい赤ん坊になったことを想像してみてください。人の声はするけれども、それをどうして言葉だと分かったのでしょうか？

言葉と音の意味する関係がなぜ分かったのでしょうか？

まだ生まれてから6か月ぐらいの子が、大人の言った言葉に反応して何かを言おうとしています。大人と同じような音を何とか口から出せたら、繰り返し練習しています。周りの大人の気が付かないうちに、日常よく聞く言葉を自分も出そうと繰り返し練習しています。

☆ そうして口を動かして色々な音を出していると、ある時、言葉には意味があることに気がきます。0歳から1歳の子にとっては、これはすごい発見です！

そして毎日毎日新たな発見があります。

そのうち常に自分と一緒にいて自分が泣けば答えてくれた親が自分とは違う人だということに気が付きます。今までは親も自分も一心同体と思っていたのに、親は別の人格を持っている事に気が付いたわけです。

これも大変な発見です。

☆ この時期は、主に2歳ごろから始まります。第一の独立期、よく言うイヤイヤ期です。（先日、職員と話した際にイヤイヤ期というのはマイナスにとらえられやすいから、他の言葉を使いたい・・・いろいろ考えたあげく、意味を考えれば独立期がふさわしいと思いわかりました。この言葉を世の中に広めてイヤイヤ期の持つ意味をプラスに考えたいと思います。）

それから他の子のことも意識できるようになり、4歳以上になると共同で遊ぶことの楽しさから新たな世界が広がってきます。

この様に保育園の時代は、子ども達にとっては、毎日毎日が学びの連続で、日常生活は常に新しい冒険の世界です。このようなハードな一日が終わるころには疲れ果ててすぐにも休みたくなってしまいます。

○ 保育園の価値は、他の子どもたちとの関わりであり、毎日毎日、多くの学びがあることですが、その反面関わりが複雑になってくると難しいことも出てきます。



☆ 時には他の子の持っているおもちゃを自分のものだと思ってしまい（今までは目につくものはすべて自分のものでしたから、当然です。）無理に取ろうとします。そうすると取られそうになった子も同じように自分のものだと思っているわけですから決して引きません。

言葉で伝えられない頃は、大体、力づくで解決しようとしています。

保育士たちは、こういう時には、「貸してって言うといいんだよ」とか「〇〇が欲しかったんだね」とか

どういえばよいのかを教えてください。時間はかかりますが、そのうちに言葉で伝えられるようになってきます。ここでも言葉の持つ力を学び、子どもの世界は一気に広がります。

しかし、1歳の子にも、何が正しく、公正なのかということはわかっているようです。以前、すばしこい子がいてハイハイでいきなり他の子に近づいて噛みつく子がいました。それまでは何も関わっていない子に歯形が付くほど噛みつくのですから理由が分からず、私たちはみな頭を抱えてしまいました。しかし行動パターンを見ていると、驚くことを発見しました。この子は、保育士がいけないと言っていたことをする子がいると『そんなことをしてはいけない』という意味で噛みつきに行っていたのです。はじめのうちは何で噛まれるのか全く分かりませんでした。この子なりの正義感からだという事が分かりびっくりしました。

○ 保育園は多くの学びの場であるけれども学びが大きければ大きいほどリスクも高くなります。特に双葉の園は広い園庭を持っていますから、外遊びを大事に考えています。危ないこともありますが、なるべく見守りつつチャレンジさせてあげたい、多くの発見をしてもらいたいと思っています。

○ 今年度もまだ当分の間、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることになると思います。昨年度は主な行事がほとんどできませんでしたが、今年は何とか出来る範囲で計画を立てています。

○ 運動会は「秋のお楽しみ会」と名前を変えてクラス別に行います。ここ数年間は運動会が気候変動の影響もあり計画どおりにはできませんでした。

そこで今年はクラス別に「秋のお楽しみ会」を行います。雨の日には屋内のホールなどで行いますので日程の変更はありません。

◎ 今年は、双葉の園創立90年です。

今年の双葉祭は90周年の記念行事として行い、他に音楽会、観劇会、なども考えています。

